

# か ぶん か かつどうなど し えん コロナ禍の文化・スポーツ活動等への支援

令和3(2021)年8月30日から同年10月5日まで開催されました、市議会定例会におきまして、市長提出議案10案、諮問4件、認定10件、議員提出議案8案、市民の方々からご提出頂きました陳情5件が、それぞれ審議・議決されました。以下では今定例会におきまして、はまの太郎が伺いました質問の内、コロナ禍における文化・スポーツ活動をはじめとする生涯学習活動の機会確保について、及び近隣公園などにおけるベンチの整備について、概要をご報告致します。

## ① コロナ禍における文化・スポーツ活動など生涯学習機会の確保について

**質問** コロナ禍における公共施設の利用制限や事業の中止によって、文化・スポーツ活動や、保健・医療・福祉など幅広い内容についての生涯学習の機会が失われている。こうした活動・学習機会の確保について、どのように取り組むか。

**市答弁** 可能な限り学習・活動等の機会を設けるよう、準備していく。オンラインを含め、新たな形での学習支援にも積極的に取り組んでいく。



昨年来、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、長期に渡り多大なるご協力を頂いておりますことに、心より御礼申し上げます。

直接人と人とが一堂に会し、時間と場所を共有することで初めて得られる経験には代え難いものがあります。一方でこの間音楽イベントの配信や子育てに関する交流会をオンラインで行う等、ご自宅からご参加頂ける生涯学習の取り組みも、始まってきています。

会場に足を運ぶことが困難な方々も含め、広くご参加頂きやすい事業のあり方や活動しやすい生涯学習環境の整備について、引き続きの課題として取り組んでまいります。

## ② 近隣公園などにおけるベンチの整備について

**質問** 近隣公園などにおいてベンチの数が少なく、休憩しづらいところがあると声が聞かれる。ベンチの数が少ない公園には増設が必要ではないか。

**市答弁** ベンチの数は、公園の大きさや周辺の住宅環境で異なっている。増設について要望があった際には、近隣の皆様にご意見を伺った上で設置を行っている。



近隣公園などのベンチの数は、令和3(2021)年9月時点で、高根木戸近隣公園45基、小室公園42基、大穴近隣公園29基、北習志野近隣公園23基、坪井近隣公園9基と、かなりの差がございます。

コロナ禍におきましても近所の公園は、外の空気を吸いながら、少しゆっくりとお過ごしになれる貴重な場の1つであると考えます。

お子様と一緒に遊ばれる方々、長い距離を歩くことはご負担に感じられるご高齢の方々や障害のある方々、どのようなご利用者にとりましても、足を運び、少し立ち寄ってみたいくなるような、過ごしやすい公園整備に、今後も取り組んでまいります。